



平成ノ大造営 時満ちて 道ひらく

平成二十六年・甲午 年頭挨拶



宗像大社 宮司 高向 正秀

平成二十六年甲午の年頭を迎えるにあたり、謹んで皇室の弥栄と国家の安泰、氏子崇敬者の御多幸を心よりお祈り申し上げます。
旧年三月には 三笠宮彬子女王殿下の御参拝、七月には 天皇后両陛下が皇太子時代に御揃いで行啓されてよりちようど三十年振りとなる

皇太子殿下の行啓を仰ぎ奉り、宗像大神鎮座の根幹である神勅「天孫奉助」の宗像祭祀の姿が体現された慶びに堪えない記念すべき年でありました。

宗像大神の御親神の天照大神をお祀りする伊勢の神宮におかれましては、第六十二回式年遷宮が厳しく斎行され、出雲大社でも六十年に一度の遷宮が執り行われました。遷宮が同時に斎行されるのは、昭和二十八年以来六十年振りということに慶賀の続く年でもありました。

近年、全国的規模で若い人々の神社参拝が増えていますが、このことは神社としては喜ばしい反面、混迷した今の時代を生きる若者たちが日本人の生き方に深く関わってきた神社神道や伝統文化に触れることにより、精神的支柱、或いは正常な心を取り戻そうとしているように感じられます。

戦後教育は歴史や伝統文化を否定する傾向にありましたが、今日の

状況を目の当たりにすると、建国以来の我が国の伝統や文化を正しく伝える必要性を強く再認識する次第であります。

当大社では、旧年二月には「宗像大社平成ノ復興期成会」が発会し、約四十年振りの造営事業「平成ノ大造営」を本格的に始動することとなりました。八月末には辺津宮の本殿・拝殿の修復を前に仮殿遷座祭が斎行され、本年末には御修復を終えた本殿・拝殿がお披露目できる予定であります。

九ヶ年に亘る造営事業ではありませんが、三宮の境内整備を執り進めることにより、皇室・国家の守護神である御祭神の神徳の発揚に努めて参る所存でありますので、氏子崇敬者各位の変わらぬ御理解と御協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

本年も皆様方にとりまして、素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

<p>宗像大社責任役員会</p> <p>代表役員 高向 正秀</p> <p>責任役員 出光 昭介、松尾 新吾、長尾 亜夫、麻生 豊泰、出光 浩二、清水 正晃、伊東 信一郎、谷 正明、清水 正敏、養父 守、安部 照生、河辺 俊基、寺島 亮兒、倉元 亮兒</p>									
<p>宗像大社職員</p> <p>名譽宮司 養父 可愛</p> <p>宮司 高向 正秀</p> <p>権宮司 高津 敬之</p> <p>権宜 高津 幹之</p> <p>権禰宜 渡邊 安彦</p> <p>権禰宜 杉山 秀丸</p> <p>権禰宜 長友 貞治</p> <p>権禰宜 佐々木 大治</p> <p>権禰宜 中原 裕生</p> <p>権禰宜 神島 直之</p> <p>権禰宜 坂本 敬</p> <p>権禰宜 御床 直之</p> <p>権禰宜 大塚 宗延</p> <p>権禰宜 豊岐 貴寿</p> <p>権禰宜 松林 拓</p> <p>権禰宜 吉野 理</p> <p>権禰宜 宗像 崇史</p> <p>権禰宜 鈴木 祥裕</p> <p>権禰宜 鈴木 康介</p> <p>権禰宜 日高 裕介</p> <p>権禰宜 船越 裕介</p> <p>権禰宜 石井あゆみ</p> <p>権禰宜 岡田華代子</p> <p>権禰宜 澤崎 有希</p> <p>権禰宜 田中 志保</p> <p>権禰宜 山口 通花</p> <p>権禰宜 石口 通花</p> <p>権禰宜 古野 愛美</p> <p>権禰宜 山下 奈美</p> <p>権禰宜 沖西 彩香</p> <p>権禰宜 衛藤 愛里</p>					<p>宗像大社氏子会</p> <p>監事 福田 伸孝</p> <p>会長 安永 治允</p> <p>副会長 置括玄二郎</p> <p>監事 松井 幸男、瀧口 善徳、沖西 敬明、山本 清夫、城野 寅夫、瀧口 和彦、安部 正弘、小島 正實</p> <p>宗像大社・中岡宮奉賛会</p> <p>会長 豊福 一敏</p> <p>副会長 河辺 敬明</p> <p>宗像大社・中岡宮奉賛会</p> <p>会長 森 千尋</p> <p>副会長 佐野 瀨里菜、篠原あゆみ、石井 通、陣内 楓、福永 愛、福嶋 真紀子、津 典秀、吉武 律子、花田 純子、井上 光生、奥宮 種男、岩佐 弘二、吉田 正輝、力丸 和代、阿部 和代、竹本百合子、永嶋 康子</p> <p>非常勤管理員 吉田 雅国、権田 行子、藤田ツタエ、吉田 達子、岩佐 保雄、砂場 一明、井上 善行、石井 忠、河窪奈津子</p> <p>非常勤講師 花田みどり、大西 晶子</p>				

年頭挨拶



福岡県知事
小川 洋

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。宗像大社および地域の皆さまには、日ごろから「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動に、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

平成二十一年一月に本遺産群がユネスコの世界遺産暫定リストに記載されて以来、福岡県は、宗像市、福津市と共同で、市民団体、経済団体、文化・教育団体等の皆さまと「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置し、世界遺産登録に向けた官民一体の取り組みを推進しています。

昨年は、推進会議の開催に併せて、宗像大社のご協力のもと委員による沖ノ島および宗像大社三宮の視察が行われました。田島の辺津宮、大島の中津宮、沖ノ島の沖津宮という広大な信仰空間に感銘を受けるとともに、沖ノ島までの海路では、古代における航海がいかに困難であったかということに想いを巡らせました。航海の安全と対外交流の成就を祈る古代祭祀が行われ、現在まで信仰が受け継がれてきた沖ノ島と宗像大社の神聖さを改めて実感し、「人類が誇る宝」とあるという認識を強く持ちました。

このような宝を世界遺産として登録するためには、学術的な検討に基づく資産の価値や保存管理の計画を記述した推薦書をユネスコに提出し、審査を受ける必要があります。

昨年は海外の専門家を招き、二回の国際専門家会議を開催したほか、世界遺産の登録にあたって学術的な審査を行うICOMOS(国際記念物遺跡会議)からも委員を招き、推



推進会議視察

薦書作成の検討を進めました。本資産は平成二十六年度にユネスコへ推薦書を提出、審査期間を経て二十八年度に登録されることを目標としています。推薦書作成作業は大詰めを迎えており、提出に向けて、引き続き取り組んでまいります。

また、世界遺産登録には、地元機運の盛り上がりが必要となります。昨年は、世界遺産について、また「宗像・沖ノ島と関連遺産群」について学びたいという声が、例年以上に数多く寄せられ、本資産についての関心が高まっていると感じられた年でした。宗像大社をはじめ、地域の皆さまの信仰により現代まで受け継がれてきた、このかけがえのない資産の価値を広く世界に知らしめ、確実に将来へ引き継いでいくため、さらなる情報発信にも努めてまいりますので、今後とも本推進会議の世界遺産登録活動に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

今年も昨年同様、天馬が空を駆け巡るがごとく、大いに飛躍し前進する年です。本年が、皆さまにとりまして、夢や希望、元気に満ちあふれる一年となりますよう心から祈念いたします。



Personal Communication

株式会社 ゼネラルアサヒ
〒812-0064 福岡市東区松田3丁目777番地
TEL 092-611-8311



デジタルグラフィックス研究所
宗像市アスティ1丁目5番地





年頭挨拶

年頭挨拶



宗像市長

谷井 博美

新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成二十六年の初春にあたり、皆様におかれましては清々しく新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より宗像市政、とりわけ「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動に格別のご理解とご協力を賜り、改めて厚くお礼申し上げます。

ご存知のとおり、宗像大社は、市杵島姫神、湍津姫神、田心姫神の三女神をまつる全国約六、〇〇〇社の総本宮として古代から悠久の歴史を持っており、宗像地区は宗像大社を中心として発展してまいりました。現在、辺津宮の本殿と拝殿では修復

作業が進んでおり、今後、約十年をかけて「平成ノ大造営」が行われま

す。宗像大社を中心とした関連遺産群を保全し、後世に継承していくため、市といたしましても「宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンス施設である海の道むなかた館を積極的に活用し、発信してまいりたいと考えております。宗像のすばらしさを伝える歴史遺産の展示の他、特に普段行くことのできない沖ノ島については、大画面の3D映像で沖ノ島の自然や遺跡の様子を体感していただきたいと思ひます。

さて、昨年を顧みますと、本市は平成の大合併、九州第一号として旧玄海町と合併を行い、新市制十周年を迎え、さまざまなイベントを開催いたしました。

四月に海の道むなかた館にて3Dアニメ「海の民宗像」の上映を行い、九月の世界遺産強調月間・オガチマンスにおきましては、市民と行政が一体となって、市民参加型ミュージカル「む



ミュージカル「むなかた三女神記」

なかた三女神記」の公演や、プロジェクションマッピング、みあれ祭前夜祭イベントなどを行い、なかでも実行委員会を中心に実施されたみあれ祭前夜祭の花火大会では、約三、〇〇〇発の打ち上げ花火が夜空を彩りました。平成二十八年の世界遺産登録に向けて、活動は年々活発化しているところでございます。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録を通じて、市民が郷土にある貴重な文化遺産や自然を大切に守り、「市民が住んでいて良かったと思うまち」、「訪れた人たちが、また訪れたいと思うまち」、「宗像を離れた人たちが、誇りに思うまち」になるように、今後のまちづくりを進めてまいります。

これからも引き続き世界遺産登録活動並びに本遺産群の保全保護に対し、温かいご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりますが、宗像大社におかれましては、本年もより一層のご繁栄の年となりますことを祈念いたしますとともに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、年頭のあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

文字も大きく地域面も充実



© THE NISHINIPPON SHIMBUN CO.,LTD.

西日本新聞社

<http://nishinippon.co.jp/>

- 本社 福岡市中央区天神1丁目4-1 〒810-8721
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152
- 北九州本社 北九州市小倉北区堺町1丁目2-16 〒802-0005
TEL 093(482)2601 FAX 093(531)2014
- 東京支社 東京都中央区八重洲2丁目8-7 福岡ビル 〒104-0028
TEL 03(3273)8585 FAX 03(3273)8586
- 大阪支社 大阪市中央区北浜3丁目1-21 松崎ビル 〒541-0041
TEL 06(6202)6351 FAX 06(6202)6356

平成26年 元旦 明けましておめでとうございます。

古式祭・鎮火祭

古式祭

八百余年の歴史
去る十二月十五日(日)未明、八百余年の歴史を持つ古式祭が仮本殿にて厳肅に斎行された。



古式祭 祭典

新穀を御神前にお供えし神々に五穀豊穡を感謝する祭典と、奉仕者・参列者も神々と御膳を共にする「御座」の二つで構成される宗像地方独自の神事である。新米の御飯・海川山野の幸のほか、地元宗像市江口区の人々によって採取された「ゲバサモ(海藻)」や、菱餅、九年母(くねんぼ・蜜柑の原種)を特製の竹籠に入れた「御菓子」と云われる特殊な御供え物が



清明殿での御座

捧げられる。また、御座は田島区内八班の氏子が毎年交代で奉仕する、今年は田島区長と当番を務める山下班の男性奉仕者が神職と共に参籠(神社に宿泊し、世俗との交わりを断ち、身を清める事)を行い奉仕した。祭典は夜が明けない暗闇の午前六時、前日より参籠した高向宮司以下神職が奉仕し、宗像市田島・江口両区長、当番班々長、置鮎氏子会々長等が参列し斎行された。

又くじ引きも行われ、翁面・御神盃・神札などが参列者に授与された。御座は神様と御膳を共にし、一年の喜びを分かち合う「神人和楽」に本来の目的がある。午前十時半には最後の御座も滞り事無く終了した。

鎮火祭

古式祭終了後、午前十時より鎮火祭が斎行された。「ほしずめの祭」とも言われるこの神事は火神の荒びを鎮め、その災いを受ける事のないように祈る神事である。神話では火神の荒びを、水神が「ひさご」、埴山姫神が「川菜」を以て鎮めたのである。祭典でも宮司以下二名の神職が古式に則り火打石で忌火を起こし、「ひさご」で水を注ぎ、次いで「赤土」、最後は「川菜」で覆う、鎮火の儀が行われた。



鎮火の儀

祭典には谷井宗像市長・小山福津市長を始め、阿部・吉武県議会議員、吉田宗像市議会議長・大久保福津市議会議長、県消防学校々長、宗像市防災協会、宗像地区消防本部、宗像・福津市消防団関係者、置鮎氏子会々長らが参列し、寒さが一段と厳しくなり火の気が多くなる年末年始の平穩を祈った。

あなたのいちばんに。
FFG ふくおかフィナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いたします。

福岡銀行

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211



ブランドキャラクター「ユーモ」

宗像大社神符頒布始祭

十一月二十日、来たる平成二十六年に向けての宗像大社神符頒布始祭が当大社仮本殿にて厳肅に斎行された。この祭典が終わると、いよいよ



よ新年に向けた新たな神札の頒布活動が始動する。

当大社は、古代九州で唯一「神郡」を持つことが許された。その範囲は、宗像・福津を中心

にその周辺におよぶ。以降、地域の総氏神として篤い崇敬を受けてきた。その御神縁から毎年、宗像・福津両市の氏子崇敬者の方々に宗像大社神符を頒布している。

祭典は、氏子総代約七十名が参



集し斎行され、頒布者を代表し宗像大社氏子会置舘玄二郎会長へと宗像大社神符が授けられた。

祭典終了後、清明殿にて氏子評議員会が開催され、古式祭及び御座参列の御願い・人形献米の取り纏め・正月祭・新年一月十三日に斎行される献米奉告祭氏子奉幣使の選定などが協議された。また、氏子奉幣使は、旧玄海町池野地区郡野より選出の評議員 花田利和氏に決定した。閉会后氏子総代・評議員の方々は各地区に頒布する宗像大社神符・人形を手に大社を後にした。

宗像大神を奉斎し、西日本高速道路 管制センター安全祈願祭

十二月二日、西日本高速道路株式会社(ネクスコ西日本)太宰府社屋新道路管制センター安全祈願祭に、当大社神職が出席した。

「道路管制センター」とは、高速道路上での事故や災害時の現場対応の指示など、交通安全にかかわる中核的な業務を行う司令塔であり、二十四時間三六五日体制で安全管理を行っている。今回、情報システム

機能の変換に伴い、社屋を含めての改修が行われ、交通安全の神として知られる当大社が

依頼を受け、宗像大神が奉斎される運びとなった。祭典は神棚奉斎始にあたり、社屋竣工とセンター運用の安全を祈念する祝詞を奏上、施設内が祓い清められ、恙無く執り修められた。

現代社会は、モータリゼーションの時代を迎えその成熟期とも言える。その



中で九州自動車道を始めた高速道路は、今や産業を支える陸送での物流の大動脈であり、観光・行業にも欠かせない存在である。その保全・運用は利用者の目には見えない部分であるが、とても大切なところである。日本の経済を支える影の立役者とも言える。ここに、関係者の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。

現代社会は、モータリゼーションの時代を迎えその成熟期とも言える。その

人と技術の未来を創造する

Human & Technology

 三島光産株式会社

代表取締役社長 三島 正一

本社 / 〒805-8503 北九州市八幡東区枝光二丁目1番15号
TEL (093)671-8500 FAX (093)671-8503

<http://www.mishimakosan.com/>

三島光産

検索



天皇皇后両陛下には、十一月三十日十二月六日の間インドを御訪問になられました。皇太子時代より五十三年ぶり、歴代天皇として初めての御訪問であり、国賓としてインドのプラナブ・ムカルジー大統領の招待を受けられての事である。

この海外御渡航にあたり全国の神社では、安泰を祈る臨時祭典を斎行しており、当大社でも十一月二十八日に「天皇皇后両陛下下印度共和国御渡航行幸啓安泰祈願祭」、御帰国後の十二月七日には「同御渡航還幸啓奉告祭」を斎行した。また、期間中は、日供祭に併せ「御渡航行幸啓安泰祈願」を執り行い、両陛下の海外御渡航中の平安と訪問国との友好を祈念した。

天皇皇后両陛下
インド御訪問
御渡航安泰の諸祭事を斎行

両陛下は、大統領主催の晩餐会に際して、東大寺大仏開眼供養にさかのぼり、古くから両国民が文化交流を重ねてきた歴史に言及された上で、これまでの我が国への厚情に感謝の意を表され、更なる信頼と友好の絆を深める事を切に希望された。また限られた日程の中、各地を御訪問になり多くのインド国民と親しく交流された。

インド独立より六十有余年、混迷する国際社会の中で年々両国関係の重要性は高まる兆しをみせる中での両陛下の御訪問は、後世重要な意味をもたらすものかもしれない。



神、いざなう

特別展 国宝大神社展

1月15日(金)~3月9日(日)

九州国立博物館

九州国立博物館

特別展

国宝大神社展

Grand Exhibition of Sacred Treasures from Shinto Shrines

◆期間 平成26年1月15日~3月9日

第六十二回神宮式年遷宮を奉祝する事業として神社本庁が特別協力し、一月十五日より九州国立博物館で「国宝 大神社展」が開催されます。全国各地の神社の協力のもと、国宝や文化財に指定された神宝が数多く出展されます。当大社からも沖ノ島神宝十三件もの貸出を予定しております。

またとないこの機会に、是非、足をお運び下さい。

謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

2014年元旦



ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡東営業所
092-663-2310

ダイドードリンク株式会社
西日本営業部福岡オフィス
092-663-2171

ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡南営業所
092-574-4642





去る十一月二十二日、新年に先立ち大注連縄の奉製が恒例により沖中両宮奉賛会・同翼賛会・敬神婦人部外多数の方々の御奉仕にて美しく整えられた。

大注連縄奉製奉仕 三宮合わせ、六本を奉製

本年は辺津宮

本殿の御屋根替えが

行なわれている為、中津宮本・拝殿、御嶽宮、宮崎区厳島神社、辺津宮第

二宮・第三宮分計六本の奉製となっ

た。また初の試みで宗像市より一般

の方を対象に注連縄奉製の体験奉仕

者を人数限定で募集したところ七

名の参加者が集まった。

当日早朝、奉仕者はお祓いを受け

奉仕を開始、約三十名の奉仕者は二

手に分かれ作業を行い、漁師町なら

ではのテグス(釣り糸)で注連縄の元

となる藁束を締め上げたもの二本を

結び合せ大注連縄の完成となるが、

テグスできつく締め

られた注連縄は成人

男性約二十名掛かり

で何とか結わえる程

の硬さである。これ

を六本奉製し終えた

のは既に夕刻、奉仕者

一同腕に力が入らな

い状態であった。

一般参加の奉仕者

には宗像市内の神社



この日奉製された藁の香り漂う真新しい大注連縄は、師走に入り掛け替えが行われ、新年を迎える準備がまた一つ整えられた。
また、時化となった十二月十日には、沖津宮・中津宮各所の小注連縄奉製奉仕が、同じく沖中両宮奉賛会・同翼賛会・敬神婦人部の方々により行われ、三m〜五十cmまで各所に合わせて、約百本もの注連縄を奉製頂いた。

節分祭の御案内

本年も下記日程で節分祭を斎行致しますので、皆様振るってご参列下さい。

宗像観光協会主催

豆まき

2月3日(月)

◆節分祭 午前11時~

於=本殿

◆豆打ち式 午前11時30分~

於=斎館前 特設舞台



太陽光は、 九電工っす!

SunQコール ☎0120-039-905
www.kyudenko.co.jp/taiyoko

太陽光は九電工 検索

株式会社 九電工 福岡北営業所
〒811-3219 福津市西福岡2-17-17
TEL0940-42-1120



Make Next.
九電工
福岡北営業所

平成26年 元旦 明けましておめでとうございます。

第42回

宗像大社短歌大会

宗像大社短歌大会実行委員会

第四十二回宗像大社短歌大会(実行委員会主催、毎日新聞社共催)が十一月十七日、清明殿で行われた。

午前中に行われた「小・中・高生」の部では、桜川冨子先生による選評が行われ、「二、六四八首の応募数は過去最高で、レベルが向上している」とのお褒めの言葉を頂き、最後の表彰式が終ると、演壇を前にご家族と一緒に記念撮影する生徒さん達の姿が見られた。

午後からの「一般の部」では、葦津権宮司より、応募数の増加(過去最高の二六六首)を祝う挨拶があり、続いて、新進気鋭の若き男性歌人・黒瀬河瀾(くろせからん)先生から「街角の歌/過去より現代へ」という講演が行われ、切れ味よくユーモアある話に参加者は熱心に聴き入っていた。

引き続き、青木昭子先生・田光介先生・桜川冨子先生・中西輝磨先生から、入選作品と当日ご出席の方々の作品について、ときには添削もまじえて長時間の講評を頂き、その後、表彰式が行われ、快い拍手のうちに本年の大会を無事閉幕した。



主な受賞者は次の通り。

一般の部

福岡県知事賞

大和美由紀 宗像市
真夜中に働く息子玄関で見送る犬の頭を撫づる

福岡県教育委員会賞

中村 重義 北九州市
それぞれに行先違ふ日曜日六人家族の不揃ひの靴

宗像市長賞

井寺 容子 筑後市
スタジアムの熱き歓声吸ひあげて入道雲はゴジラに変はる

福津市長賞

向井 靖雄 大阪府岸和田市
夕立の過ぎゆき宮の参道に仄か厩の匂いたたよう

宗像市教育委員会賞

田久保節子 春日市
長居せし今日のむらさめ夕空に大き二重の虹を置きゆく

福津市教育委員会賞

加藤三知乎 筑後市
トサババダサババダトと
塩サバの昼餉のけむり部屋に満たして

毎日新聞社特別賞

石川 愛子 筑後市
幣を振る神主の背に止まりいて真白き蝶は神の声聞く

宗像大社宮司賞

宮本 君子 広島市
九州を去りて四半世紀過ぎ夢にときどきどんたくどんたく

宗像大社氏子会賞

井口登志子 筑後市
手の甲に春の口紅試しては秘かに飛翔の色を確かむ

宗像大社賞

早川 祥三 宗像市
軒下の絡りながら角張ってニガウリふたつ育ちゆく夏

宗像大社賞

清水 良郎 名古屋市中区
あおあおと海の底より沸き上がる海女の体の嵩の泡なり

宗像大社賞

山本九満夫 北九州市
ボタ山が墳墓のごとく見えながら移り来し町に吾れの荷を解く

宗像大社賞

大西 晶子 宗像市
葉の間に濃き影たたへ直ぐ立てり青き実つける夏の公孫樹は

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



SF CALL CENTER : 国内線 0570-07-3200
国際線 0570-07-8200
<http://www.starflyer.jp>

株式会社 スターフライヤー
代表取締役 米原 慎一
社長執行役員

平成26年 元旦 明けましておめでとうございます。

全国放送のご案内

TBS 世界ふしぎ発見!

1986年より、日立グループの提供で放送されている長寿番組「世界ふしぎ発見!」で、宗像大社が登場します。

この番組は「世界へ行こう、世界を知ろう」をテーマに、世界の遺跡や遺産を取材し、その素晴らしさや不思議をクイズに仕立て、わかりやすく紹介するドキュメンタリーの教養番組です。

「ミステリーハンター(現地に赴き取材、出題を担当)」と呼ばれる番組独自のリポーターは原則女性ですが、今回は沖ノ島が女人禁制のため、高視聴率で話題となったドラマ「半沢直樹」にも出演した、モデル・俳優の前川泰之氏が何度も訪れ、宗像三宮の撮影が行われました。

宗像大社と宗像地域の歴史的価値やその信仰、魅力的な風土を再発見して頂ければと思います。

TBS 世界ふしぎ発見!

絶海の孤島に眠っていた国宝八万点!

海の正倉院 沖ノ島

1月18日(土)21:00~21:54

TBS系 全国放送
(福岡県ではRKB毎日放送)



高校生の部

◆宗像市長賞 福岡女学院 楠田 純香 一年
大丈夫いつでも貴方の味方です味噌汁作る母の背中

◆福津市長賞 宗 像 梅木 惇 二年
忘れない忘れないこの真夏
ドキドキもしたズキズキもした

◆宗像市教育委員会賞 福岡女学院 立花 弥生 二年
おにぎりに想いをそっと握り込む密かに送る君へのエール

中学生の部

◆宗像市長賞 八女市立福岡 中村 昂平 二年
甲子園エースの気迫ひしひしと僕にも届くあの面構え

◆福津市長賞 福岡女学院 内田 咲希 三年
フィルムが入ってなかったこめんね、
とよそよそしくも父は笑った

◆宗像市教育委員会賞 北九州市立大谷 中川このみ 三年
夕間に沈む町には鈴虫の白銀の声絶えずふりつつ

小学生の部

◆宗像市長賞 志免中央 中山 冨良 四年
しらゆりのつぼみのかたちしているよ線香花火もつわたしの手

◆福津市長賞 福岡 徳田 準也 六年
たのしみは面が決まって審判の旗が三本上がるの見た時
たのしみは光集めたフカフカのふとんに直行とびこむ時

TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 金子 直幹

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号
電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一

〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号
電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社

代表取締役社長 宮里 宣哲

〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号
電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 中尾 潤一

〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号
電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社

代表取締役社長 久恒 兼孝

〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号
電話(092)441-2111

平成26年 元旦 明けましておめでとうございます。

新しい千支縁起物 千支はりこ

木型に紙を貼り、乾いてから型を抜き取ったものを「張り子(はりこ)」と申します。

張り子は動物や達磨、また幼児の玩具として親しまれてきました。おなじみの方も多いのではないのでしょうか。本年も千支張り子を縁起物として授与致します。

張り子の中に鈴の入った「紙音」、千支の午が破魔矢を持った「破魔矢午」、首の部分が動く「首振り午」の三種類です。



千支はりこ (破魔矢午)
初穂料 700円

千支はりこ (紙音・鈴入り)
初穂料 500円

千支はりこ (首振り午)
初穂料 1,000円

今年最初の運だめし

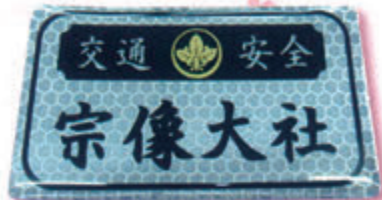
新春 福みくじ

～縁起物からロボット掃除機・テレビなど家電まで～
1回500円(空くじなし) 時間・・・元旦午前零時～ 場所・・・神門前



授与品紹介

新年より授与しております。



交通安全反射守 初穂料 500円

従来のオレンジ色で厚みのあるものを一新し、薄型で、夜間反射力の増した素材を使用しております。



結い守 初穂料 800円 (色=ピンク・紫・緑)
当大社の御神紋「榎の葉」の意匠に、三本の水引を結び合わせることで、「人と人」「心と心」あらゆる「縁」を結び、幸せが訪れるよう祈念した御守です。



DTP デザイン印刷・WEB サイト制作・各種ムービー制作
(株) HSD エイチエスデー
〒811-3439 福岡県宗像市三倉17-1
TEL 0940-36-9012 URL <http://h-sd.co.jp>



株式会社 **ハーベスト警備**
福岡県公安委員会認定第581号
代表取締役 **坂上 正晴**
〒813-0044 福岡市東区千早5丁目21-2サンビル2F
TEL (092)673-0180 FAX (092)673-0190



福岡ダイハツ販売株式会社
代表取締役社長 **内山 邦彦**
〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
電話(092)411-1330【代表】

理容とんぼ

〒811-3436
福岡県宗像市東郷5丁目5-10
TEL(0940)36-2405



一般社団法人 **日本自動車連盟九州本部**
本部長 **有田 耕一**
〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
電話(092)841-7676【代表】



玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース
玄海ゴルフクラブ
〒811-3502 福岡県宗像市江口1578-18
電話(0940)62-2233【代表】
FAX(0940)62-2728



(続)

浜の寄物

284



いしいただし

金刀比羅神社には、「奉納」大正八年 御願成就 宗像郡神興村津丸松尾伊三」とあるだけの「軍艦絵馬」がある。マストが前後にあり、二本煙突、前後に一番砲塔、二番砲塔がある。砲塔の位置からすれば、日清日露戦争の軍艦でなさそうである。特に砲塔が二段の連装砲塔を装備している。野沢正著の『日本軍艦一〇〇選』を見ていると、金剛級戦艦「霧島」に非常に似ている。竣工は大正二年(一九一三)である。その後数度の大改装を行い艦姿は変化している。第一次改装では艦橋構造物を高くし、煙突も一本となって、重量感がある。霧島は排水量二七、五〇〇t、全長二二一M、速力二十七・五kt、主砲三六

cm、八門、戦艦である。戦歴はハワイ海戦、ミッドウェー、南太平洋海戦に参加、第三次ソロモン海戦(一九四二年十一月)の戦艦群の夜戦で、リーダーを持ったサウスダコタ、ワシントンと砲火をまじえ、大小五十発の命中弾を浴びて、航行不能となり、ガダルカナル沖で自沈した。(日本軍艦ハンドブック)

宗像市吉留の八所宮には額に砲弾片や鉄砲玉を張りつけたものを見た記憶があったので行ってみた。絵馬殿の端に格子をした一画があり、平和の鐘が吊り下げたある端の壁ぎわに「砲弾額」があった。日清日露戦争に勝利品(分捕品)を納めたり、戦場に散乱している砲弾片や鉄砲玉を記念に持っていることを何かの本で読んだことがある。八所宮のものはそれを額仕立てにして、神社に奉納したものであろう。寺内正毅(軍人・政治家・陸軍大将・元帥首相)一八五二(一九一九)の時には、勝利品の展示や奉納、戦勝記念碑を各地につくらせている。古賀市谷山の八幡社にも立派な戦利品石碑が建てられているし、福岡市東区三苫の綿津見神社には戦利兵器奉納品の額が残っている。「明治四十年、陸軍大



霧島か?

宗像市吉留の八所宮には額に砲弾片や鉄砲玉を張りつけたものを見た記憶があったので行ってみた。絵馬殿の端に格子をした一画があり、平和の鐘が吊り下げたある端の壁ぎわに「砲弾額」があった。日清日露戦争に勝利品(分捕品)を納めたり、戦場に散乱している砲弾片や鉄砲玉を記念に持っていることを何かの本で読んだことがある。八所宮のものはそれを額仕立てにして、神社に奉納したものであろう。寺内正毅(軍人・政治家・陸軍大将・元帥首相)一八五二(一九一九)の時には、勝利品の展示や奉納、戦勝記念碑を各地につくらせている。古賀市谷山の八幡社にも立派な戦利品石碑が建てられているし、福岡市東区三苫の綿津見神社には戦利兵器奉納品の額が残っている。「明治四十年、陸軍大



宗像市 吉留 八所宮の勝利品 額

将寺内正毅」の名が見える。古賀市の資料館にいた時、市民が家にあつたといつて日露戦争のロシア軍の「弾薬箱」の寄贈を受けた。弾薬箱には一八八三年の年号があり、「三十七ミリ砲用、信管付き輸送用実砲」とロシア語のメモがついていた。八所宮の砲弾片額の左手には「旅順警備軍艦鈴谷乗艦石松春蔵」の名があった。日露戦争の連合艦隊の艦船を調べてみたが、水雷艇、通報艦等の小型艦の名がないので鈴谷は小型艦であろう。日本軍艦で鈴谷(すずや)の名は、太平洋戦争に登場する。排水量二二、〇〇〇t、全長一九八m、速力三十五km、主砲二十cm×十門をもった高速重巡である。マレー方面攻略作戦、ミッドウェーおよびマリアナ沖海戦、レイテ沖戦に参加、サマール沖海戦で、米艦載機の攻撃を受けて沈没した。知人の遠賀郡若屋在住の田代恒雄氏が自宅の神社に戦争絵馬と沖ノ島の絵馬があると聞き次回はこれについて書いてみる。

玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心
一風光明輝、生魚料理、宗像大社となりー

魚屋本店 ☎ (0940) 622122

魚屋別館 ☎ (0940) 623355

御宿はなわらび ☎ (0940) 620107

玄海旅館 ☎ (0940) 620001

玄海ロイヤルホテル ☎ (0940) 624111

国民宿舎ひびき ☎ (0940) 621288

高嘉旅館 ☎ (0940) 621221

松風荘 ☎ (0940) 620120

みなと荘 ☎ (0940) 622255

亀の井ホテル ☎ (0940) 383301

第六二九回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



【評】 津宮「天の川」の水引きし池シーラカンスのごとき鯉をり
天の川とシーラカンスの取り合わせが面白い。三句へ引く池に。結句は「棲む」(見ゆ)なども考えられる。

宗像市 土穴 山本 静子

【評】 初に知る椋の木とてやあまた落つむくろと落ち葉そとあさり見る
むくろは無患子の実、羽根つきの羽の材料。初句は字余りでも初めて見る」としたい。

うきは市 浮羽町 向 則正

【評】 父の墓に五歳の孫と遙かきて二人で草引き手を合わせたたり
血脈などを考えさせられる歌。語順を変え、「遙か来て五歳の孫と草を引き父の墓前に」としてみた。

福津市 若木台 野間 精一

【評】 渡り来し鴨の一陣か今年また西郷川の堰に遊べり
毎年渡ってくる鴨なのだろう、さりげないが、三句に飛来を心待ちにしていた作者が見える。

北九州市 八幡西区 豊田 光子

【評】 騒ぐもの体のどこかにまだありて時刻は変らぬ道を駆けゆく
上の句が魅力的だが、四句がよく分からない。通勤していた若い時と同じ時刻にの意か。駆ける場所か理由が分かると良い。

宗像市 日の里 石松 弘次

【評】 耳遠き亡母にあら声立て居りて吾が補聴器の世話になるなり
亡き母に申し訳ない気持ちの作者、歳を取り初めて分かることもある。三・四句(立てしわれ今は補聴器の)。

福津市 中央 池浦千鶴子

【評】 救急車の音の行方を気にしつつ短き秋の日今日も暮れゆく
秋の日暮の心許ない気分が出ています。三句で主語が変わっているので、三句切れにする詠み方も考えてみては。

【評】 宗像市 日の里 大和美由紀
ふさふさの茶色の毛をなびかせて鉄塔登るオランウータン
背景がきちんと描写され、目に見えるよう。二句へ茶色の背の毛」と字足らずを補った。

宗像市 池田 森 龍子

【評】 一様に七十円と値の付きし花苗個々の色を主張す
花苗にそれぞれの個性を感じている感性は鋭い。結句は擬人法にせず(色に咲きをり)に。

福津市 星ヶ丘 佐々木和彦

【評】 やる気をは睡夢の内に持つらしく目覚めてすぐにこの世を詠ふ
作者自身のことか、知人なのか少し迷ったが、夢の中でも意欲的。結句は少し抑えて(歌一首詠)に。

宗像市 田久 巻 桔梗

【評】 「ホイホイ」にもがく鼠に腰を引く猫のプライドを剥ぎたるは誰
過保護を飼い主に批判的な作者。四句プライドは猫らしくないので野生ではいか。

宗像市 多禮 早川 祥三

【評】 今はもう拾うものなき椎の実を鳥居のもとにいただきしころ
物の豊富でなかった時代には炒った椎の実はいよいよおやつだった、郷愁が伝わる。結句を(採りし日ありき)。

宗像市 日の里 秋吉 嘉範

【評】 パンコクの暑き街から福岡へ機外に出ればみぞれ降る夜
帰国した福岡はみぞれで驚いた作者。四句(着けば機外は)とすると滑らかに繋がる。

◆ 選者詠

【評】 漁師町鐘崎の路地に猫おほし呼べば寄りくる三毛などもゐて
共喰ひの勝者とふ蟹水槽のすなに身をうめ目のみを出だす

宗像市 日の里 石松 弘次

【評】 法被きし案山子は空を仰ぎけり
宗像市 武丸 白土 凌一
初霜や手足もちぢむ冬至かな
宗像市 多禮 早川 祥三
樽の風菊と刀の銚きわむ

俳句作品集

第六〇二回

1月祭事暦

1日	元旦祭 午前7時～ 総社地主祭 午前9時～ 総社祭 引き籠り 高宮地主祭 高宮祭、第二宮・第三宮祭、末社祭
2日	新年二日祭 午前9時～
3日	新年三日祭 午前9時～ 午前10時～ 宗像護国神社新年祭
10日	恵比須祭 午前10時～
13日	献米奉告祭 午前11時～
15日	月次祭 成人祭 午前10時～ 高宮祭、第二宮・第三宮祭 午前11時～ 総社祭・成人祭

編集後記

あけましておめでとうございませう。今年の干支は甲午(きの)のえうま、温厚で人に懐き、古代より農耕馬など重宝され、現代でも馴染みのある馬。今日、神社では絵馬に願いを書き奉納することが定着しておりますが、もとは神馬を奉納していたのが起源です。沖ノ島でも馬に関する馬具類が数多く発見されており、神と馬は親密であったことが明らかにされています。沖ノ島に田心姫神が鎮座する際、馬に乗り飛び渡った時に出来た足跡だ、という伝説が残されています。午は方角で南、太陽が南に来る時刻、真南をさす十二時頃を「午の刻」と呼んでいたことから、十二時を「正午」と言います。古来より神と人をつなぐ午の力にあやかり、皆様にとりまして飛躍の年になるよう御祈念申し上げます。正月、正午頃には混雑が予想されます。一年の刻(前)のお参りをお進め致します。皇紀二六七四年、本年も宜しくお願い致します。(鈴)

発行所 宗像大社事務所・宗像会

住所 〒811-1350

福岡県宗像市田島133-1

電話 (0940)621-3111(代)

編集人 大塚宗延・鈴木祥裕

制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共 1,000円